



急増する大腸がん!
しかし、検査って…言われると…

ためらっているあなたへ 大腸がんの新しい検査方法

当センターは、大腸がんの検診を促すために、

「CTコロノグラフィー」 という検査方法を導入しています

大腸 CT 検査 (CT コロノグラフィー) とは

内視鏡やお尻からバリウム等の造影剤を体内に入れることなく、CT撮影で検査ができます。
CT検査同様に横になっている間に、検査が終了します。
この検査で、大腸の病変(ポリープ・憩室・癌など)の検出や評価を行うことができます。

検査の辛さも恥ずかしさも最小限な検査方法

検査は、肛門から6ミリ程度のチューブを3~5センチ挿入します。大腸CT専用の炭酸ガス注入装置を使用し、安全にゆっくりと炭酸ガスを注入し、大腸を拡張させて撮影するだけです。炭酸ガスは腸管から速やかに吸収されますので、検査後の腹痛や膨満感はほとんどなく、検査時間は、**10分程度**です。

がん検診における大腸CT検査

便潜血検査は、大腸がん検診として広く普及していますが、精度にやや難点があります。大腸CT検査では5mm以上のポリープやがんなどを80%以上見つけることができます。また、CT検査ですので他臓器(肝臓、胆嚢、脾臓、腎臓など)の病気がみつかることもあります。



たけしの健康エンターテインメント！
みんなの家庭の医学(テレビ朝日)でも
とりあげられた検査方法です



< 検査のイメージ >

	便潜血検査	大腸CT
腸管内観察	×	○
腸管外観察	×	○
精度	低い	高い
組織検査・治療	不可	不可
浸襲性	無し	低い
客觀性	無し	高い

ご予約・お問い合わせはこちら



一般財団法人
倉敷成人病センター
Kurashiki Medical Center

〒710-8522 岡山県倉敷市白楽町250

患者総合支援課 地域連携

086-422-2116

受付時間：月～金曜日 9:00-18:00